

# 公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

## URC資料室だより NO. 102 平成29年3月号



福岡アジア都市研究所は、  
福岡市を中心に産学官が  
協力して設立した研究機関です。

〒810-0001 福岡市中央区天神1-10-1 福岡市役所北別館6階

TEL : 092-733-5707 e-mail : library@urc.or.jp

タイトルバック：琴性根氏 (BDI) 撮影

### 目次

#### ◆URC資料室ニュース

- ①第4回ナレッジコミュニティ開催予告・・・1
- ②中島、コンプリートしたってよ！その後-2・・・2
- ③アジア都市景観賞 2016 ポスター展 21日まで！・2

#### ◆URCニュース

- ①平成28年度市民研究員研究成果発表会開催予告・・・2

#### ◆URC資料室ニュース

### ①第4回ナレッジコミュニティ「福博の街 花を飾っておもてなし～花の美しい都市をめざして～」を開催します！

3月21日火曜日13:00～14:30、福岡市役所1階の多目的のスペースにおいて、本年度第4回目のナレッジコミュニティを行います。今回は、URC市民研究員受入事業がきっかけで発足した「福博：花まち研究会（以下＝花まち研）」の活動報告とワークショップです。講師は同会事務局長の藤原正教さんと会員の山本祐介さんです。



3月1日の定例会では報告のリハーサルが行われました。

また、花まち研誕生のきっかけから、設立後5年間の活動を振り返るポスター展(当日11:00～16:00予定)の準備も着々と進んでおります。

- ②「ふくおかIoT祭り in SRP」開催報告・・・3
- ③国際研修受け入れ報告・・・3
- ◆今月のおすすめ 研究紀要「都市政策研究 第18号」・4
- ◆URCメディア紹介情報・・・4
- ◆「資料速報 平成29年2月受入分」・・・別添

花まち研の活動は、毎月1回の定例会をはじめ、ミニセミナー(ナレッジコミュニティの前身)での活動報告、年1回の視察研修、「f U+」「研究紀要 都市政策研究」への投稿など多岐にわたっており、会場では会員が待機し、ご覧になった方々への各種ご質問にもお答えする用意をしております。



そして、会員のおひとりである吉原春造さん(日本ハンギングバスケット協会福岡県支部副支部長)の花の作品が、「花しるべ」に先駆けて会場を彩ります。

実際に花の活動をされている方や、ご関心をお持ちの皆様、どうぞお気軽にご参加、ご観覧ください。

写真出典：福博：花まち研究会ご提供 (山崎三枝 司書)

## ②中島コンプリートしたってよ その後-2

第3回ナレッジコミュニティ「中島、コンプリートしたってよ」が反響を呼び、松山市立子規記念博物館（愛媛県松山市）で開催された「サイバーセキュリティシンポジウム道後2017」において、ポケモンGOと地域の活性化の可能性についてお話してきました。400人近い来場者の方々は真剣にまちづくりとゲームについて考えていただいたようです。

「道後温泉周辺地区」は2016アジア都市景観賞にて受賞された地域であり、道後温泉本館の周辺でもポケモンGOを楽しむ観光客の方が大勢いらっしゃいました。改めて地域の活性化とゲームは親和性が高いと実感しました。



写真出典：URC撮影(中島賢一 調整係長)

## ③アジア都市景観賞 2016 ポスター展 開催中！3月21日までです。

前号でもお知らせしましたポスター展ですが、21日火曜日をもって終了することにいたしました。

2016年受賞都市のポスターを日本語の解説と並べて、資料室入り口横に展示していますので、ご興味のある方は是非ご覧ください。唐寅主任研究員の講演資料や、銀川市での授賞式の様子もクリアファイルでご覧いただけます。どうぞお見逃しなく！

写真出典：URC撮影(山崎三枝 司書)



## ◆URCニュース

### ①平成28年度 市民研究員研究成果発表会を開催します！

3月12日日曜日13：30～16：30、アクロス福岡 6階 606 会議室で、平成28年度市民研究員研究成果発表会を開催します。

福岡市では、平成28年に第99回ライオンズクラブ国際大会が開催され、海外から多くの参加者が訪れました。平成31年のラグビーワールドカップの開催都市の1つに選定され、平成32年の東京オリンピックにつづき平成33年には世界水泳大会が開催予定となっているなど、世界各地から来訪者が押し寄せ、福岡の名が世界中に発信されることが期待されます。福岡市としても福岡を次のステージへと飛躍させることをめざして「FUKUOKAネクスト」チャレンジと銘打った積極的な取り組みを実施しています。



こうした背景から「さらなるグローバル化時代に向けての福岡市のまちづくり」をテーマとし、(1) 成長するアジア地域の需要を取り込むアジアビジネスのあり方、あるいは(2) 国際都市としての各種都市施設（インフラ）整備のあり方、(3) 外国人にとっても住みやすい多文化共生型社会の実現方法などについて、市民研究員6名が約9か月間にわたり活動した、研究や調査などに基づく成果を発表します。

市民研究員さんの個別のテーマは以下のとおりです。  
『多文化共生社会の構築に向けた福岡市民の意識向上を目指す政策に関する研究』 … 岡田 憲二郎  
『福岡市における多言語センターの構築とネットワークの確立に関する研究』 … 古賀 尚子  
『グローバルシティにおける都市機能としてのコミュニティとメディア』 … サーズ 恵美子  
『福岡市のブランド作りについて～東洋一幸福な都市へ』 … 鄒 艶  
『世界中の起業家を集め、世界の創業特区をめざす政策に関する研究』 … 古澤 秀和  
『女性起業家と女性フリーランスの協働を促進するプラットフォームに関する研究』 … 矢野 裕樹

お申込の締め切りは、平成29年3月8日水曜日までで定員50名です。申込み先着順で参加は無料です。

下記を明記のうえ、Eメール(shimin@urc.or.jp)又はFAX(092)733-5680にて、福岡アジア都市研究所までお申込み下さい。

- (1)「市民研究員発表会(3月12日)」参加希望
- (2)参加希望者の《氏名・ふりがな》《電話番号》  
《メールアドレス》

写真出典：URC撮影 昨年度の研究発表会の様子  
(夏井圭介 主任研究員)

## ②「ふくおかIoT祭り in SRP」を開催しました！

平成29年2月24日金曜日に福岡ソフトリサーチパークにおいて、「ビッグデータ&オープンデータ研究会 in 九州 (BODIK)」と「福岡市IoTコンソーシアム (FITCO)」が主催の「ふくおかIoT祭り in SRP」を開催しました。

BODIKでは設立3年目で正式に会員を募集することを記念し、会員化記念セミナーを開催しました。午前の部では、BODIKワークショップを松田浩一氏(合同会社顧客の声活用社 代表)が講師となり、「データビジュアライズ入門 ~Tableau (タブロー) ハンズオンセミナー~」を開催しました。オープンデータのアプリケーション開発や、AIやデータ分析などデータ利活用について

体験するワークショップで、これからのオープンデータ利活用に必要なデータビジュアライゼーションについて、急速に普及しているTableau (タブロー) を実際に操作していただきました。

午後のBODIK会員化記念セミナー第1部では、国際大学 グローバル・コミュニケーション・センター准教授 庄司昌彦氏による「オープンデータ2.0と九州での展開への期待」と題した基調講演を行って頂きました。第2部では、BODIK副会長で、(一社)オープン・コーポレイツ・ジャパン常務理事の東富彦氏が、「スマートシティを加速するオープンデータプラットフォーム」と題した講演を行いました。最後に、BODIK会長で、九州大学名誉教授の村上和彰氏が「ビッグデータ&オープンデータで貴社ビジネスをデジタル化する！」と題した講演を行い、参加者は皆熱心に聞き入っており、活発な質疑応答が行われました。

「ふくおかIoT祭り in SRP」では、BODIK関連のイベントだけではなく、IoT分野で注目を集める「LPWAセミナー」、「HoloLens体験会&アイデアソン」、「空の産業革命ドローンの基礎」、「女子だらけの電子工作ワークショップ」など幅広い層の方々に向けたプログラムが多数行われました。

写真出典：BODIK撮影(山本美香 主任研究員)

## ③国際研修受け入れ報告 アジアの大学生ら50名が福岡市視察研修に参加しました！！



2017年2月20日月曜日にシンガポール国立大学リークワンユー公共政策大学院の学生や、東京大学、九州大学の留学生ら23ヵ国約50名が福岡市を訪れ、視察研修を行いました。

リークワンユー公共政策大学院は、アジア有数の公共政策大学院として世界各国のリーダー候補・現役官僚等を有

する大学院で、同大学で学ぶ福岡市出身の学生が「福岡市の住みやすさ、素晴らしさを同じ大学院で学ぶ学生たちに見て欲しい」との思いから、今回の視察研修を企画して実現したものです。

視察研修の内容は、防災、スタートアップ、水施策など多岐にわたり、水素ステーションの見学も行いました。また、国連ハビタット福岡本部の深澤本部長からもこれからのアジアを担う若きリーダーたちに向けて講義を行っていただきました。

最後には、市長表敬も行われ、博多駅前の陥没事故時の高島市長のリーダーシップについて、高い関心が寄せられました。

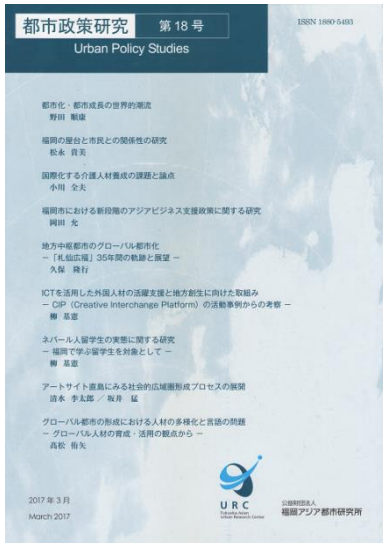
参加者たちからは、「福岡市の防災に対する取り組みを自国に持ち帰りたい」「福岡市は魅力的な都市。本気で福岡に住んでみたい、ここで働きたい」という声も聞かれました。

した。

写真出典、記事のご執筆

(福岡市総務企画局国際部 濱田葉子 係員)

## ◆今月のおすすめ 研究紀要「都市政策研究 第18号」を刊行しました！ 第19号の投稿論文を募集します！



URCでは、研究紀要『都市政策研究 第18号』を刊行しました。今号も様々な角度から、都市政策に関する気鋭の論文9本を掲載しています。今後（3月中旬頃）、URCホームページでもPDFファイルにて閲覧可能となりますので、一度ご覧ください。

また、18号を刊行したばかりですが、次号『都市政策研究 第19号』に掲載する投稿論文を募集します。論文の内容は、都市政策に関連する研究成果をまとめたものとし、特に、福岡市の都市政策に対する何らかの提言的な内容を含むことが望ましく、新

規性または有用性のあるもので、原則として未発表のものに限りません。

投稿期限は、査読を要する論文は2017年8月31日、査読を要しない論文は2017年9月30日です。投稿資格は、原則としてURC職員、福岡市職員、または賛助会員の方ですが、大学の研究者等で編集委員会が認める場合はこの限りではありません。

投稿規定の詳細はURCホームページに掲載しています。投稿を検討・希望される場合は、URCまで事前にご連絡（ご相談）をお願いします。また、皆様のお知り合いやお近くに論文を發表されたい方や、興味がありそうな方がいらっしゃいましたら、ぜひご案内ください。多くのご投稿をお待ちしております！

【専用メールアドレス：[toshiseisaku@urc.or.jp](mailto:toshiseisaku@urc.or.jp)】

(山本美香 主任研究員)

## ◆URCメディア紹介情報—最近1か月の情報を中心に—

### ◎新聞

(2017/3/1 西日本新聞 朝刊 6p)

国土計画を海外へ 福岡市でシンポ  
野田順康特別研究員がパネリストとして参加 コメントが紹介される。

(2017/2/25 日本経済新聞 朝刊 38p)

福岡市「住みやすい街」3つの理由 謎解きアカデミー  
九州・沖縄 うまい！安い！近い！人口増、賃料上昇に懸念

畠山尚久研究主査が分析し、コメントが紹介される。

(2017/2/25 日本経済新聞 朝刊 38p)

この1冊 ローカルブックストアである 福岡ブックスキューブリッカー大井実著

平成27年度第2回目のミニセミナーの講師を務められた大井実さんの著書が紹介される。

(2017/2/20 日刊建設工業新聞 13p)

国交省ら/福岡市でPPP・PF I 推進首長意見交換会開く /新たな価値生み出す発想を

URC OBで現在企画委員の谷口博文さんが意見交換会のコーディネーターを務める。(☆印=以下同じ)

(2017/2/20 建設通信新聞 10p)

PPP・PFIで意見交換/内閣府と国交省/事例や課題報告も ☆

(2017/2/16 南日本新聞 朝刊 1p)

リノベ物件、市場に活気/鹿児島県内、空き室増受け-

手=DIY 賃貸、一戸建て再生も

市民研究員 OB の吉原勝己さんの活動が紹介される。

(2017/2/9 朝日新聞 朝刊 33p)

公共施設延べ床面積糸島市が25%削減へ 将来人口・税収減見据え

URC OBで現在企画委員の谷口博文さんが検討委員長としてコメント(\*印=以下同じ)

(2017/2/4 西日本新聞 朝刊 21p)

糸島市 公共施設床面積が25%削減へ 60年度めど計画案を検討委答申 \*

(2017/2/2 毎日新聞 地方版 26p)

報告会:地域活性に若者の視点 成果や企画紹介  
鳥取環境大経営学部・新井ゼミ/鳥取

URC OB 新井直樹さんのゼミの活動が紹介される。

### ◎雑誌

(2017/2 日経ビッグデータ)

27p ソリューション動向 東京海上が医療情報共有の実験 米プラネットウェイがシステム提供

同実験を福岡地域戦略推進協議会が協力

### ◎ラジオ

(2017/2 毎週金曜日 ローカルラジオ放送こみてん

18:00~18:25)

スポガで Ready Bowl!! 市民研究員 OB 吉田勝さんがパーソナリティを務める。